

TRICK STAR Racing Club

#11	山本 剛大	予選 2位	決勝 優勝
#12	兵藤 龍之介	予選 23位	決勝 8位

2015 鈴鹿・近畿選手権シリーズ最終戦 NGK杯鈴鹿サンデーロードレース ST250 クラス

例年通り、NGK杯鈴鹿サンデーロードレース最終戦は鈴鹿サーキットフルコースで開催された。ST250ccクラスはエントリー台数も増加し、一番注目されているクラスといえる。

11月27日金曜日に特別スポーツ走行が行われ、28日土曜日に公式予選・29日日曜日に決勝が行われた。

11月27日 10:35～10:55

朝から気温が上がらず、また風が強かった。山本選手・兵藤選手とも自己ベストタイムから約3～4秒ほどペースが遅い。強風の為、マシンが振られたりクリッピングポイントに着くことが出来なかったりでコンディションが良くなく、この走行はマシンチェックに充てた。

11月27日 14:35～14:55

午後からの特別スポーツ走行時間も強風が吹く中 開始されたが、徐々に収まり始めタイムアップしていく。20分間の走行時間では鈴鹿フルコースをST250ccクラスでは約8周しか走行出来なく、マシンの状況を確実に把握するよう走行し、タイムを詰めていく。



公式予選日は朝から快晴で風も穏やか。

11月28日 公式予選 14:35~14:55

予選時間は20分間。1周に2分35秒程必要なので8周しか周回出来ない。予選が開始されコースイン後2周目のシケインコーナーでチームメイト同志、山本と兵藤が接触転倒してしまう。2人ともマシンを起こしピットに戻ってくる。直ぐにメカニックがマシン修復を施しピットアウトする。山本はタイムアタックできる周回は2周。兵藤は1周のみ。山本は計測1周目で35秒548を記録しモニターのトップに掲示される。その次の周もセクタータイムを更新していくが最終セクター4でミスしてしまう。しかしタイムを更新し35秒488を記録する。だがその間にライバルにタイム更新され2番手に。

兵藤はマシンに少しの不具合がある中、懸命に走り42秒412を記録し23番手で予選を終了する。



11月29日 決勝レース 15:05～ 8Lap

山本剛大選手は、スタートを決めホールショット。#2安田選手とトップ争いになり、先行されても直ぐに抜き返す。レース序盤は昨日までのコンディションより路面温度が下がっており、タイヤを上手く使えるよう少しペースを抑えている。しかしレース中盤から35秒台での周回で3番手以降の後続を引き離していく。7周目のシケイン進入で安田選手がインに飛び込んでくるが、最終コーナー下り区間で直ぐに抜き返す。最終ラップのトップ争い2台に注目が集まる。安田選手はピタリと背後に着けているが仕掛けて来るまでに至らず抑えきりトップでゴールする。

兵藤龍之介選手、1周目から果敢に前車を8台を抜き15番手で帰ってくる。2周目は2台を抜いて13位。3周目は4台を抜き9位に。4周目は8番手との差を詰めて帰ってくる。5周目にその前車を抜き8位に上がるが、翌6周目に10番手に下がる。7周目は8番手までポジションを回復させ、最終ラップは8番手をキープしゴールする。やはり決勝スタートが23番手で、周回数も8周と少なく予選でのアクシデントが悔やまれる。



山本剛大 コメント

予選 2位

予選開始後、シケインコーナーで接触転倒してしまいましたが、幸いバイクは軽傷でピットに戻る事ができ、マシン修理をして2週の計測が出来る残り時間で復帰できました。金曜の特別スポーツ走行からフロントサスペンションのセッティングを変更したのが上手くいき計測1周目から前日のベストタイムを上回り2周目もアタックをしましたが、最終シケインでミスをしてしまい、予選を2位で終わりました。

決勝 1位

前日から更に気温が下がり難しいコンディションでのレースになりました。スタート直後から安田選手との争いになり抜きつ抜かれつのバトルをしていました。前日から路面温度が下がってしまいタイヤの温まりが悪くなり、なかなかペースを上げる事が出来ませんでした。ラスト2周くらいからタイヤのグリップ力が上がりペースを上げる事が出来ました。その結果最終ラップは仕掛けられることなくトップをキープしゴールすることが出来ました。

今回のレースは普段のアジアロードレース選手権とは違い、気温が低く難しいレースとなりました。その中でもその時その時の状況を見極め冷静に走り切り優勝する事が出来ました！

最後に、ファンの方々・スポンサー様・チームスタッフ、いつも多大なサポートや応援を感謝しています。ありがとうございました。

次回のレースは今年最後のレースとなるアジアロードレース選手権タイラウンドです。しっかりと冷静に走り切り今年の年頭からずっと目標にしていたチャンピオンを獲得できるよう頑張っていきますので、引き続き応援よろしくをお願いします。

兵藤龍之介 コメント

予選 23位

予選開始1周目はタイヤの皮むきをしながら様子を見ながら走行しました。2周目からタイムアタックに入りましたが、シケインコーナーで接触転倒してしまいました。何とかピットに戻ることが出来、マシンの修復をしピットアウトするときには残り時間4分ほどでした。しかしマシンに不具合があり、あまり良いタイムを出すことが出来ず、結果23番手のグリッドと厳しい結果になりました。

決勝 8位

スタートを決め4台ほど抜くことが出来ましたが、いきなり前の集団で転倒車両があり、集団と離れてしまいました。5周目に8番手に上がりましたが、その前のライダーとは離れており、逆に後ろの集団から抜け出す事が出来ず最終ラップまでその集団のなかでのレースになりました。結果は8位と、とても悔しい結果になってしまったのですが、この悔しさをバネにしてアジアロードレースチャンピオンシップ最終戦では必ず表彰台に上がれるよう頑張ります。

最後に応援してくれたファンの方、チームの方、スポンサー様 本当にありがとうございました。

監督 鶴田竜二 コメント

NGK杯鈴鹿サンデーロードレース、ST250クラスにTRICK STAR Racing Clubからエントリーしていた山本剛大選手が優勝しました。そしてもう一人兵藤龍之介選手は予選23位から8位まで追い上げゴールしました。

2人とも前回のレース アジアロードレース選手権カタールラウンドから少し時間が開いていたので今回のレースは楽しみにしていたみたいです。しかし思ったより気温が上がらずコンディションは少し心配でした。

予選では2人揃って接触し転倒するというアクシデントがありましたが、それをものともしない勝ちへの執念が、あの素晴らしいレース展開になったのだと思います。

今年はTRICK STAR Racing Clubとして鈴鹿サンデーロードレースST 250シリーズに参戦しましたが、本来このレースは全4戦でシリーズタイトルを争うのです。しかし、私達のチームのライダーはアジアロードレース選手権と重なっていたため、第3戦の耐久レースの出場をキャンセルせざるを得なかったのです。

振り返れば、第1戦目は我がチームの兵藤選手が優勝し、山本選手が2位。第2戦は我がチームの山本選手が優勝し、そして今回のレースも山本選手が優勝しました。

つまり私達が参戦したレースは全て優勝を果たした事になります。

鈴鹿サンデーロードレースのシリーズタイトルはスケジュールの都合上で逃しましたが、我々のライダー並びにマシンを含めチームの高いパフォーマンスは充分アピール出来たのではないかと思います。

今年最後のアジアロードレース選手権タイラウンドでも、この流れをしっかり良い結果に繋げたいと思います。

最後にスポンサー様、チーム関係者様、応援に駆けつけて頂いた皆様、本当に寒い中をありがとうございました。

